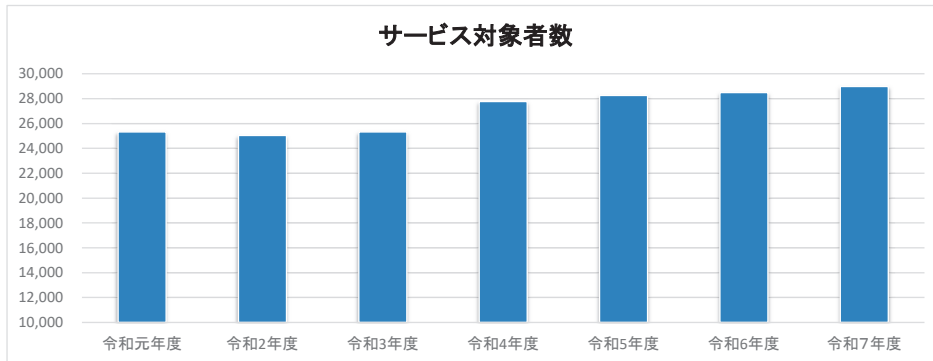


中央図書館利用状況

I サービス対象者

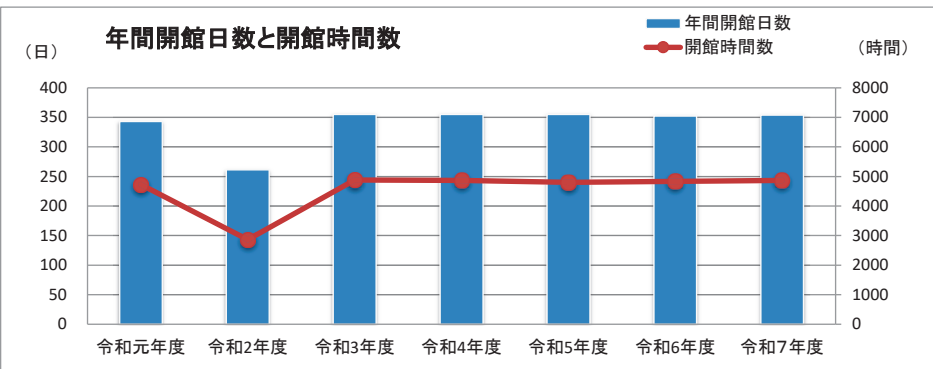
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
サービス対象者数(人)	25,331	25,033	25,323	27,774	28,247	28,496	28,968



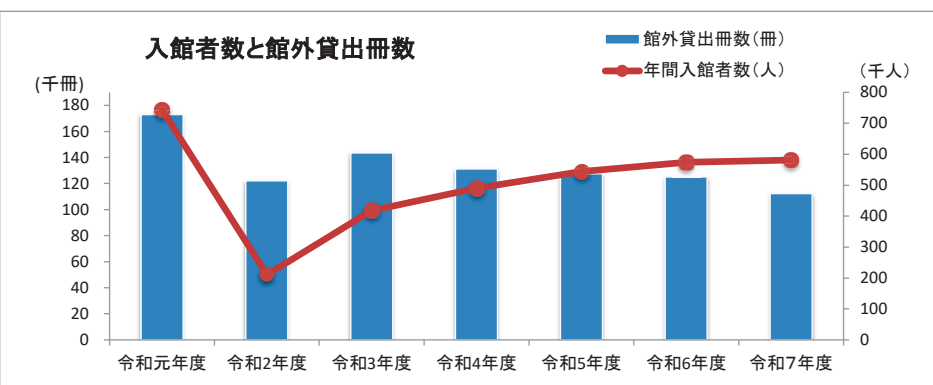
備考
サービス対象者には、非常勤教員、非常勤職員もデータを含む。
令和4年度から受入教員、招へい教員を含む。

II 閲覧サービス

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間開館日数	343	261	355	355	355	352	354
開館時間数	4,722	2,863	4,882	4,870	4,801	4,836	4,869
年間入館者数(人)	743,709	210,683	418,101	490,082	544,161	573,672	581,357
館外貸出冊数(冊)	173,042	121,989	143,453	131,121	127,461	125,072	112,268



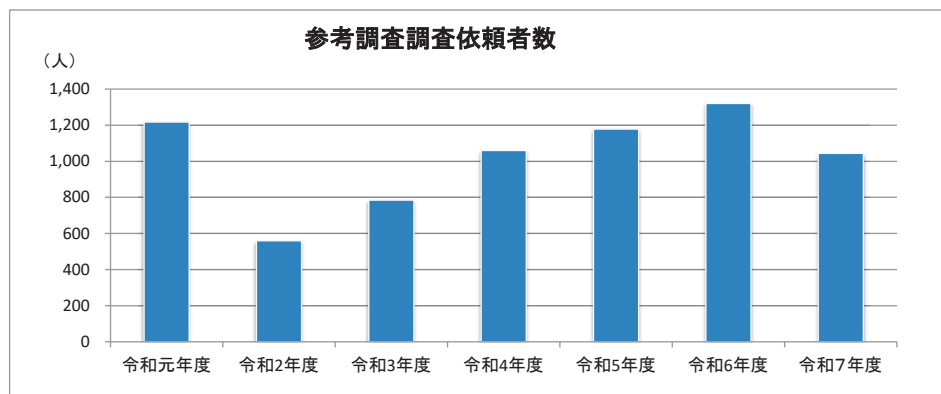
備考
・令和2年3月 新型コロナウイルス感染症対応のため短縮開館(平日9-17時、休日8:45-22時)
・令和2年度 臨時休館(4/18-5/18、11/13-16)、短縮開館4~10月: 平日9-17時、11月: 平日9-22時(休日8:45-22時)
・令和5年4月 経費削減のため開館時間を短縮(平日8-21時、休日10:15-18:30)、同年5月からは規程が定める開館時間に戻した。



備考
・令和2年3月 新型コロナウイルス感染症対応のため短縮開館及び一部サービスを変更。
・令和2年度 臨時休館、短縮開館及び一部サービスを変更(閲覧席の利用制限、学外者の入館制限)。
・令和3・4年度 引き続き一部サービスを変更。
・令和6年度の入館者数は、令和元年度の72%である。

Ⅲ 参考調査サービス

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査依頼者数(人)	1,218	559	784	1,059	1,179	1,320	1,043
他機関への調査依頼(件)	20	47	58	24	8	6	5



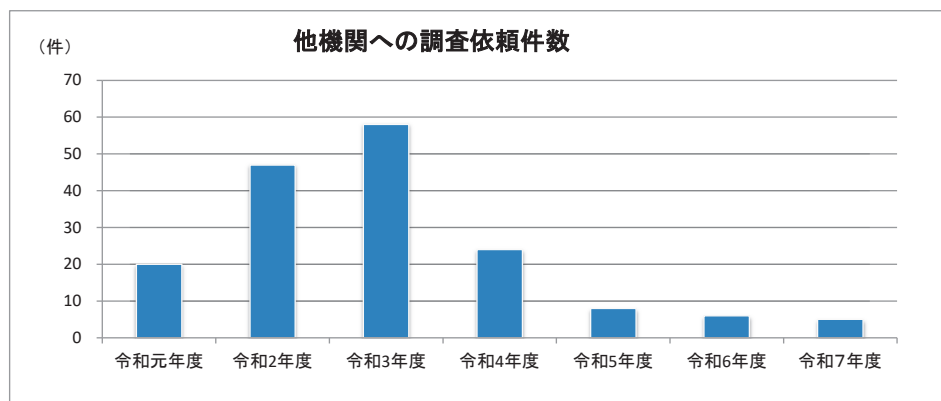
備 考

来館利用者からの依頼のみ計上

・令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症対応にともなう入館者数の減少により、参考調査依頼者数が減少した。

・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され始めたことにより、来館者増加にともなって相談件数も増加したと考えられる。

・令和7年度は減少に転じ、中には生成系AIが出力した文献や情報をもとに相談に訪れる相談者が複数見受けられ、情報探索行動の変化が考えられる。



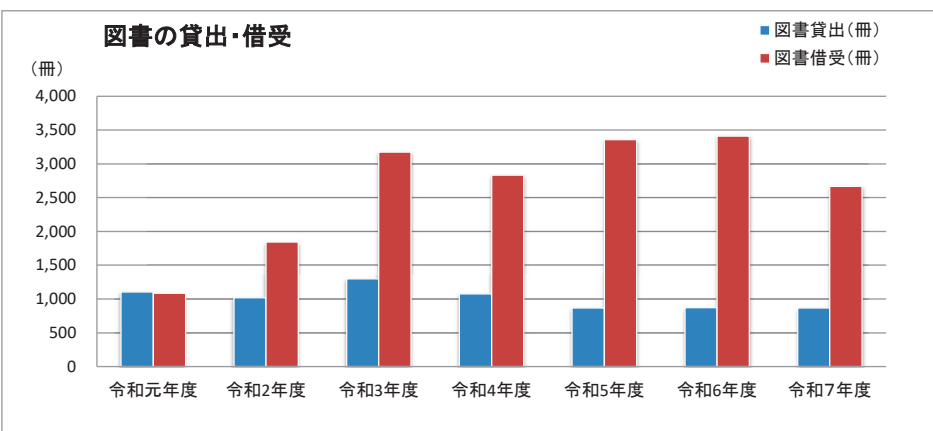
備 考

・令和2年度は、ILL集約試行実施(10/1～)と、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている機関が多かったため、他機関への調査依頼件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和4年度以降は、他機関への調査依頼件数が減少した。かねてより機関リポジトリや国会図書館デジタルコレクション等、Web上で公開されるデジタル資料が増加してきたことに伴い、図書館職員・利用者自身によるインターネット検索で調査できる範囲が拡大したことや、本学のILL無償化により、資料を取り寄せたうえで、利用者自身により調査を行うことができるようになったことも一因と考えられる。

Ⅳ 相互利用サービス(他機関)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
図書貸出(冊)	1,104	1,020	1,296	1,076	865	873	869
図書借受(冊)	1,085	1,845	3,176	2,835	3,358	3,410	2,669
文献複写受付件数(件)	1,763	1,993	2,263	1,933	1,904	1,727	1,359
文献複写依頼件数(件)	2,774	4,970	7,793	4,319	4,039	3,764	4,144
他機関への利用申請(件)	56	2	9	30	26	29	35



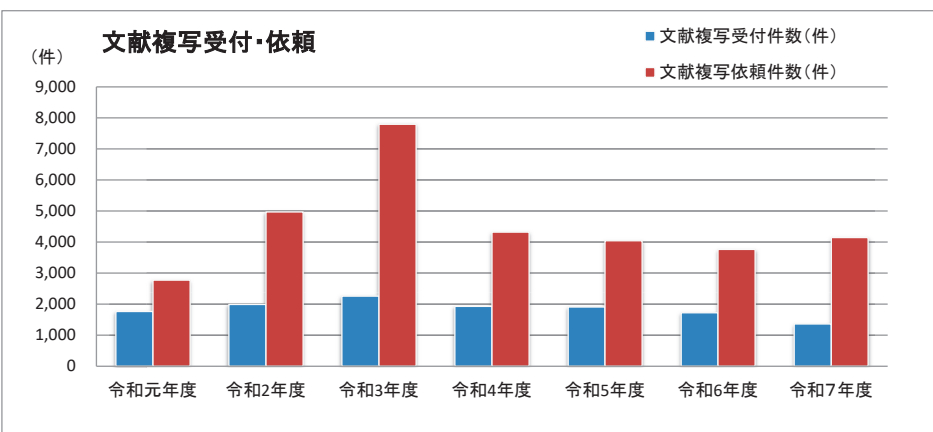
備考

・全国的に平成22年度以降は減少傾向であり、令和2年度までは落ち込み続けたが、令和3年度は増加に転じている(NACSIS-ILL)。

図書借受に関して
全国の傾向と一致せずに増減があるのは、愛知県図書館便での取り寄せ、借受けにかかる費用の一部無償化が理由と考えられる。

・令和2年度、ILL集約試行実施(10/1～)と、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている機関が多かったこと、県をまたいだ移動の自粛を求められる期間があったため、他機関からの図書借受件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和5年度以降、借受冊数が増加したのは、ILL集約と無償化が定着したことが理由と考えられる。

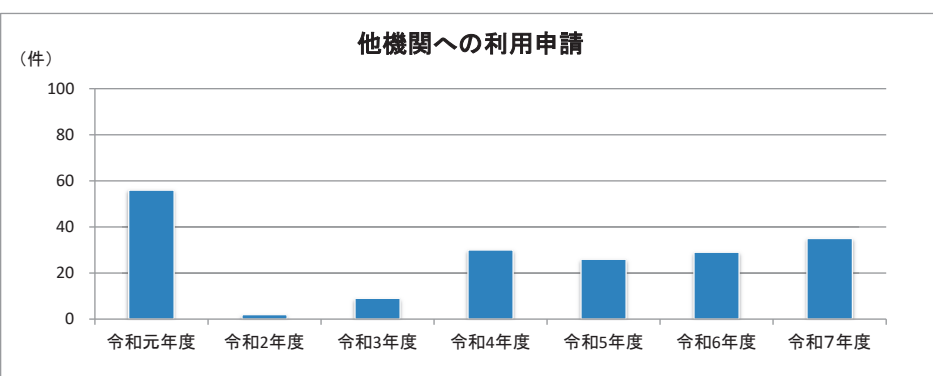


備考

・電子ジャーナルの影響で、全国的に2005年(H17)以降は減少傾向。令和3年度は増加に転じている(NACSIS-ILL)。

依頼に関して
・平成24年度から、申込者の費用負担を軽減するサービスを実施している(H24年度は試行)。
・令和2年度は、ILL集約試行実施(10/1～)と、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている機関が多かったこと、県をまたいだ移動の自粛を求められる期間があったため、他機関への文献複写依頼件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和4年度以降の減少は、新型コロナウイルス感染症対策のための入館制限や移動自粛が緩和されたこと、Web上での資料のデジタル公開やオープンアクセスの推進の効果によるものと考えられる。



備考

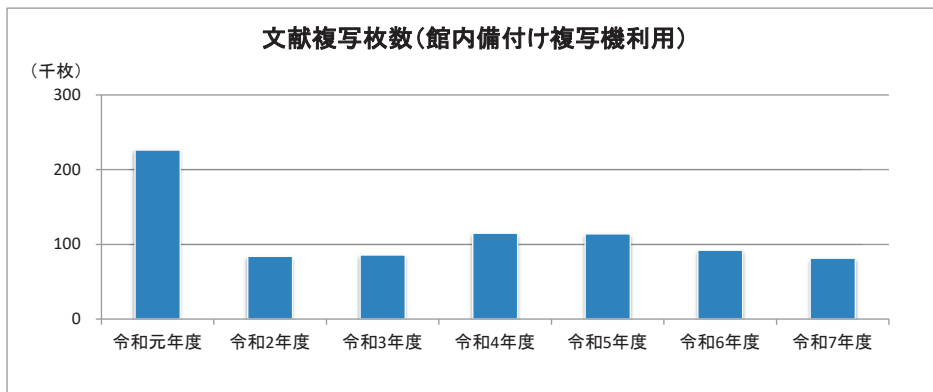
本学含め申請なしで利用を受け入れる機関が増えているが、申請が必要な機関を複数回利用する人がいる年は、必ずしも減少しない。

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている他機関が多かったこと、県をまたいだ移動の自粛を求められる期間があったため、他機関への利用申請件数が減少した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和4年度以降の減少は、新型コロナウイルス感染症対策のための外出自粛が減少し、他機関においても入館制限が緩和され始めたことにより、利用申請が増加したと考えられる。

V 館内資料の文献複写利用

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
文献複写枚数(館内備付け複写機利用)(枚)	226,262	84,139	85,612	114,835	114,053	92,021	81,614
コピーデリバリー・サービス(件)	39	42	53	35	24	20	30



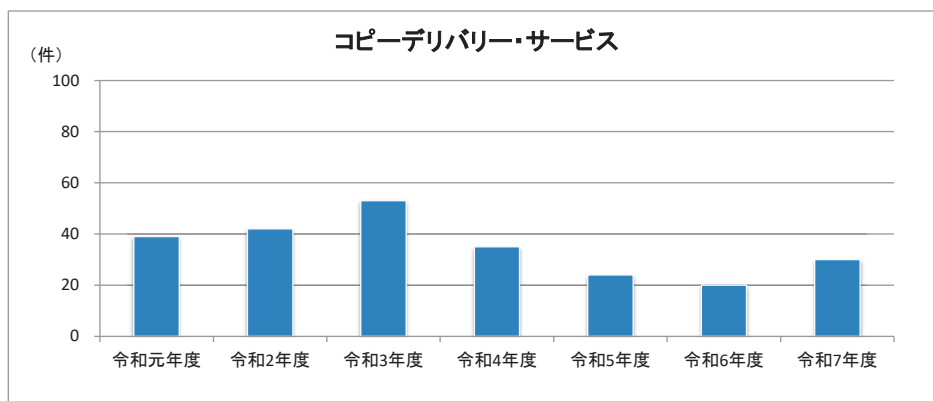
備 考

減少傾向は、電子ジャーナルの普及や、学術機関リポジトリの効果が要因であると考えられる。

・令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症対応にともなう入館者数の減少により、文献複写件数が減少した。

・令和4年度以降は、本学の新型コロナウイルス感染症対応が緩和され始めたことにより、来館者の増加に伴って館内の複写枚数も増加したと考えられる。

・令和6年度は、校費用のコピーカード式複写機を廃止したこと、雑誌などの一時持出を開始したことにより館内複写件数が減少したと考えられる。



備 考

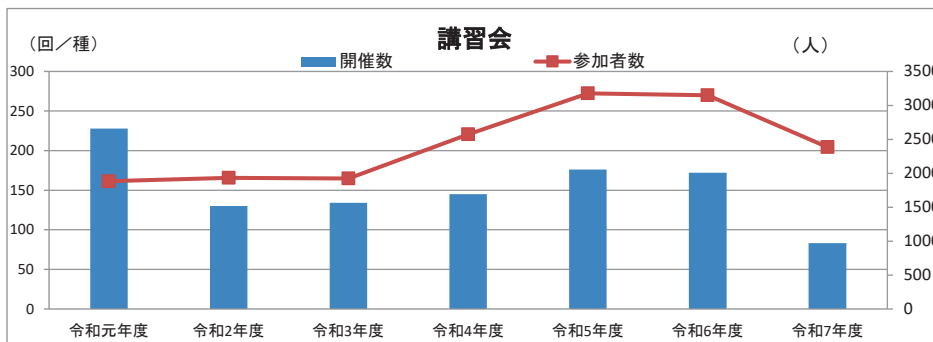
減少傾向は、電子ジャーナルの普及や、学術機関リポジトリなど、デジタル公開資料の増加が要因であると考えられる。

・令和2年度はILL集約試行実施(10/1～)のためコピーデリバリー・サービス件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和4年度以降、医学部から依頼減少により減少に転じた。

Ⅵ 学習支援サービス

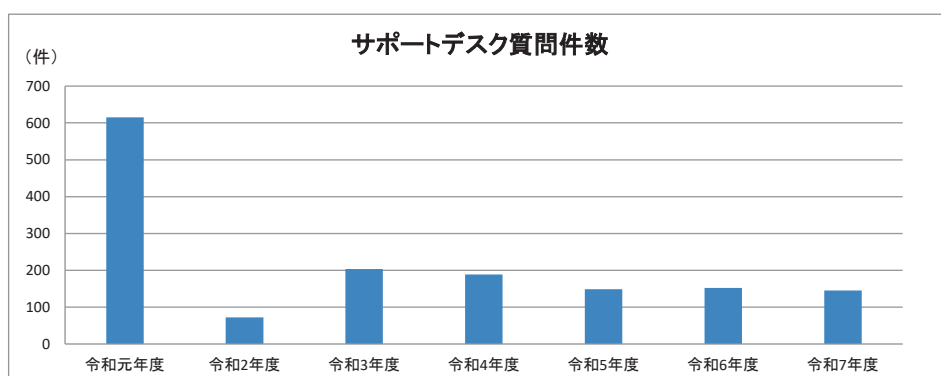
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
講習会開催数(回/種)	228	130	134	145	176	172	83
講習会のべ参加者数(人)	1883	1933	1921	2573	3177	3151	2387
サポートデスク質問件数(件)	615	72	203	189	149	152	145



備 考

・令和4年度～令和6年度
対面での図書館ツアー再開、オンライン講座の対面/ハイブリッド化、「中央図書館ミッション・ラリー」分の計上追加などあり。

・令和7年度
参加者数は、Webサイト刷新による講習会広報のプレゼンス低下等のため減少したものの、この影響を受けない基礎セミナー・モジュール授業(新入生向け)においては増加した。なお、オンデマンドを含む開催/サービスの実態をより明確に示すため、その指標を回数から種数(コース数)へ変更した。



備 考

・令和2年度
新型コロナウイルス感染症による休館やサポートデスクの休止などあり。

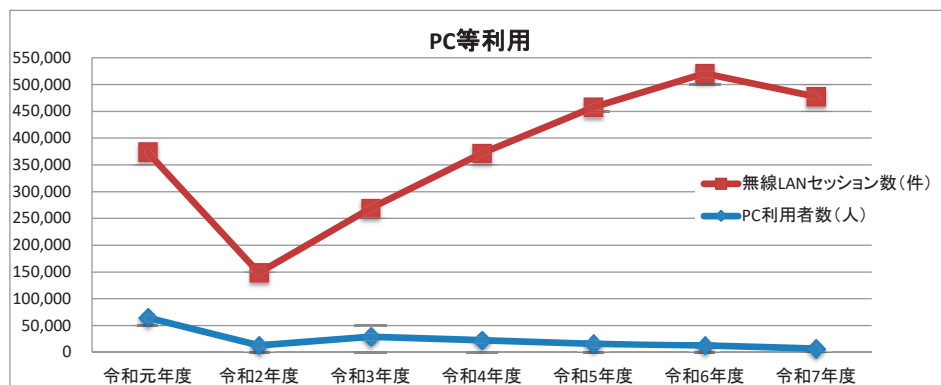
・令和4年度～
無線LAN利用方法や館内PCログインなどのICT関係の質問が、掲示物・チラシの充実等により減少傾向。また、サポートスタッフによる企画の増加で、質問が窓口業務から企画中へ移った影響も考えられる。

VII 館内施設利用

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備 考
研究個室(件)	15,956	7,070	46,909	48,602	45,972	39,170	39,574	・令和2年3月～令和3年10月 新型コロナウイルス感染症対応のため一部施設の利用を休止。
サテライトラボ(件)	62	25	55	38	9	3	5	・令和3・4年度、引き続きディスカバリスクエアの利用を休止。
セミナールームA、B(件)	157	13	38	163	135	88	66	・令和3年度 研究個室35室に鍵を設置し、計59室の利用件数を計上。/ ワーク
ディスカバリスクエア(件)	869	0	0	0	106	230	117	ボット4室設置。/ ラーニングボットC(計3
ワークボット(件)	-	-	5,017	7,958	7,467	6,617	6,045	室)の利用を申込制とし、利用件数に計
ラーニングボット(件)	1,903	0	3,348	7,211	5,125	3,923	2,898	上。/10月ラーニングボットA/Bの利用を
視聴覚ブース(件)	1,382	348	315	299	183	165	158	再開。/3月ワークボット2室追加(計6
ライブラリ・メイカースペース(件)	-	-	253	456	427	722	-	室)。
OKB大垣共立銀行高木家文書資料館(人)	3,721	1,071	1,827	1,352	2,008	2,316	2,019	・令和5年4月 ディスカバリスクエアの利用を再開。/ライティングサポートブースの利用を再開、申込不要とした。
								・令和6年8月～ワークボットおよびラーニングボットの予約単位を、時間割のコマから時間制に変更したため、件数が減った可能性がある。

VIII PC等利用

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
PC利用者数(人)	64,690	13,178	29,257	22,209	16,151	12,756	6,961
無線LANセッション数(件)	373,477	148,446	268,777	371,641	457,421	520,680	477,197

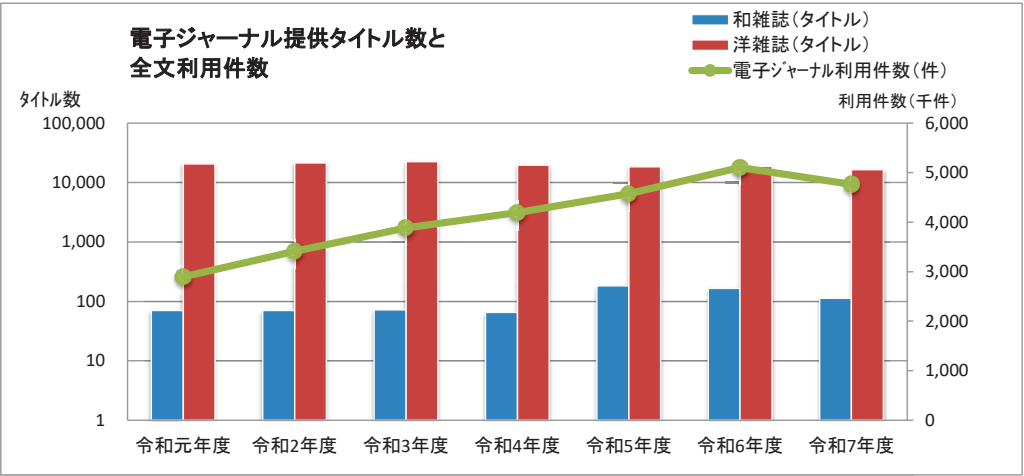


備 考

- ・令和元年度8～9月 情報メディア端末更新。
- ・令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応のため臨時休館、短縮開館、PC席の利用制限等。
- ・令和3・4年度 引き続き館内の一部サービスの変更(閲覧席の利用制限)。
- ・令和5年度の無線LANセッション数は、コロナ禍前を上回っている。

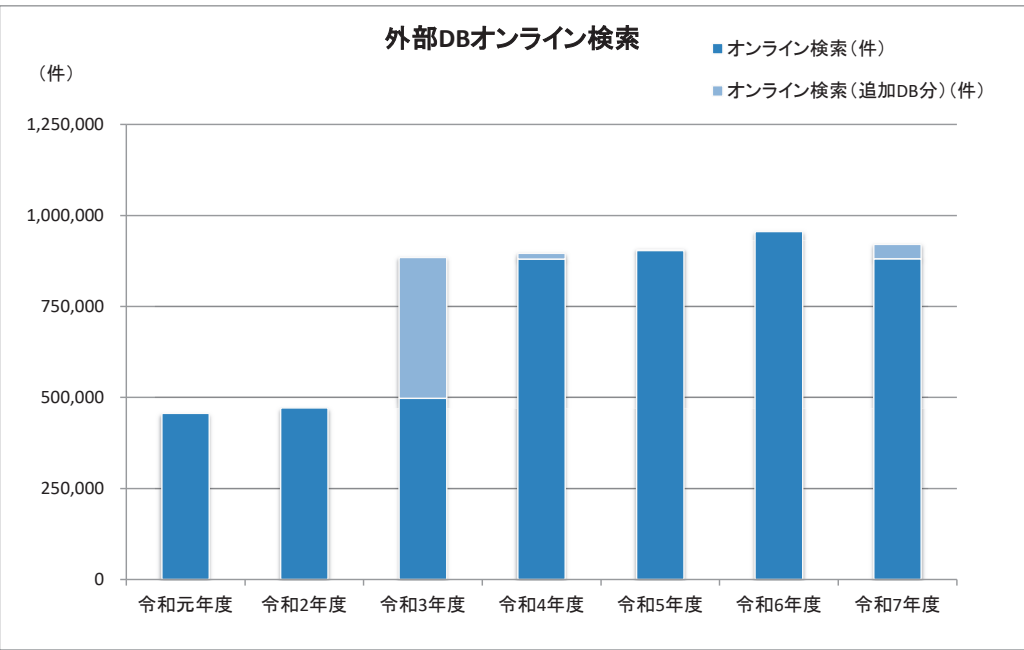
Ⅸ 電 子 図 書 館 サ ー ビ ス

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
和雑誌(タイトル)	70	70	72	65	183	166	113
洋雑誌(タイトル)	20,608	21,416	22,588	19,685	18,424	18,754	16,434
電子ジャーナル利用件数(件)	2,895,503	3,414,439	3,885,842	4,191,101	4,575,410	5,103,276	4,764,396
オンライン検索(件)	456,022	471,154	497,473	879,756	903,721	955,344	880,573
オンライン検索(追加DB分)(件)	0	0	386,823	16,239	1,898	0	39,587



備 考
電子ジャーナル提供タイトル数
(購読により最新号が利用できるタイトル
令和4年度よりEBSCO電子書籍数を除く)

全文利用件数
ScienceDirect
1,201,934件
WileyOnlineLibrary
853,318件
ACS
536,482件
SpringerLINK (Natureを合算)
1,322,450件
OUP
141,399件
など



備 考
・令和3年度追加DB JapanKnowledge、
Scopus、医中誌Web、化学書資料館、聞
蔵IIビジュアル、国史大辞典、中日新
聞、日経テレコン、毎索、ヨミダス歴史館

・令和4年度追加DB Oxford English
Dictionary

・令和5年度追加DB 理科年表

・令和7年度追加DB Discovery Service